

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

續古今和歌集竟宴倭詩

後醍醐天皇製

續古今和歌集竟宴

三代まゝく小古々

和歌

名余物

光おみの歌

玉はし

姫

卷百七十八

八

應製倭歌

後一位臣藤原朝臣相上

ひつりしきよきひはなをのふ

そゆまかあきのつたより

ひるるん成るるわのた

うらな浪

春日侍續古今和歌集竟宴應

太皇皇製和歌

後一位臣藤原朝臣實雄上

如系久小乃あつたる

かたて宅君代り

あつたるをいつるあやま

事しあふ

春日侍續古今和歌集竟宴

周詠一首應

太皇皇製和歌

三位行兵部卿臣藤原朝臣隆親上

色新なくさ伊に

いまをかまこ然て

あまの川さるるわのう

らう勢

春日陪續古今和歌集竟宴應

太上皇製和歌

正二位行大納言臣藤原朝下良致上

悠々考息れらるる世も新

ふ志まのの浦小倉の乃

物さしきあはれ おもむ

侍祿

春日陪續古今和歌集竟宴應

太上皇製和歌

正二位臣藤原朝下資季上

いくちよもささるん

とてやひろふらんわか

のうらわゆるする

らるる

春日陪續古今和歌集竟宴應

太上皇製和歌

正三位行権大納言臣藤原朝下良致上

あはれ川より伊小し色

いほ乃こころ禁の髪敷

あそび多勢乃を先しふ

巳計理

春日休續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

三位行禮納言近衛兼光藤原朝下通雅上

か敷くふみふふたふ

色能阿波志れと三代

新法かゝる歌和歌乃

浦なりん

若春陪續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

春日集 三位行禮納言近衛兼光藤原朝下通雅上

松多す急乃を先しを歌

へ巻の身し色にかを

多をよほ作歌より此字

難なりん

暮春陪續古今和歌集竟宴

應製倭歌

三位行禮納言近衛兼光藤原朝下通雅上

片きも勢しとゆれり歌

このうあに保くいま

春川女礼不也まこと
と乃は

春日侍續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

正三位行中納言藤原朝下為成

竹契乃宗跡小見末毛宗

たま成起るひをまて

伊小へいま比かみ成

み家成

春日侍續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

正三位行權中納言藤原朝下長雅上

松宗新名乎弟女者成

斗光名伊丹志色能安成

但古名乎執王賀乃字

良那美

春日侍續古今和歌集竟宴應

右皇製和歌

参議正三位行右近衛權中将藤原朝下隆平上

古美入たあ子乃成代成

てまゝの能宗らにまゝの
契もまゝの能宗らにまゝの
とらむ

春日侍續古今和歌集竟宴應

右上方製倭詩

春議三位行左兵衛督兼伊予權守藤原朝下高定

わ、れ宗、孫、や、代、る、小、意、
心、ろ、ぬ、き、ゆ、な、れ、宅、六、乃
ぬ、ひ、は、る、宗、み、か、け、歌
と、れ、く

春日侍續古今和歌集竟宴應

右上方製和歌

春議三位臣源朝下資平上

い、る、一、る、多、に、を、地、の、
和、舟、れ、宗、孫、乃、ち、ま、も、
子、宅、幣、の、ち、あ、は、み、
と、ら、む

暮春續古今和歌集竟宴應

右上方製和歌

春三位行右京大夫臣藤原朝下行家

新きしはゆのみらぬ光
空は幾く能なりふ
みかきたまたみは
るるれ

春日侍續古今和歌集竟宴應

右上方製和歌

三位行右兵衛督臣藤原朝下為整
いまもなれり乃う
う粉をうすしてま
をものえかしく代ふ

ふらふ

春日侍續古今和歌集

竟宴應

右上方製和歌

三位行左近衛将中將臣藤原朝下為整

いふしはもいよまか
まやのきみ乃御代
りかすさふやま
と乃紫

春日侍續古今和歌集竟宴應

春日侍續古今和歌集

造東大寺長官兼攝正位行丹并臣源朝雅言

わか幾子代津代をかし

大子以り新色小な哉

にち満さるふわか代末

路たみ

春日侍續古今和歌集

竟宴應

春日侍續古今和歌集

藏人及正位行丹并臣源朝雅言

柔布やまゝの代と乃を

先しをくまの巻に新

はさ木れうつたうく津

多へむ

春日侍續古今和歌集

左上官製和歌

五位上行左少弁兼左近衛少輔源朝雅言

以小へもい満之

かゝるぬあそ先て

空まもをみくわ乃

うゝ浪

暮春續古今和歌集竟宴應

右近末後少將五位下臣藤原朝隆傳上

右近末後少將五位下臣藤原朝隆傳上

海法乃葉此ちわね

所代此た先し

少きゆと歌ゆ乃う

病のそ

...

...

文永三年三月十二日續古今和歌集竟宴和方

御製律所中納言方氏

律所具式初下

律所前太政大臣

抄製律所中納言方氏

銘必任致事之

右續古今和歌集竟宴後致以為式部筆字不違一字書寫按合畢
按公卿補任及職事補任雅言朝臣上階具式初下階而不書上下字
蓋脫字乎